

オルビス、資金難に直面する全国5都市の地域オーケストラを支援

～日本屈指の表現者を迎え本格クラシックコンサートを各地で開催、お客さまを無料で招待～

2012年12月4日(火)～19日(水) 開催地:札幌・東京・名古屋・大阪・福岡

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:町田恒雄)は、芸術文化・地域支援活動の一環として、全国5都市で計9,000名のお客さまを抽選で無料招待し、本格クラシックコンサート「ORBIS THE CONCERT 2012(オルビス・ザ・コンサート 2012)」を開催します。

ご愛顧いただいているお客さまに本物の音楽を楽しんでいただくと同時に、長引く景気低迷や補助金削減で資金難に苦しむ各地域の交響楽団への支援を通じて、芸術文化の振興に貢献します。



三ツ橋 敬子/指揮

奥村 愛/ヴァイオリン

砂川 涼子/ソプラノ

中鉢 聡/テノール

オーケストラ楽団は、演奏会のチケット収入だけでは運営することが困難で、国や自治体の補助金、企業や個人の寄付金により成り立っていますが、国や自治体からの補助金は年々縮減されているのが現状です。

「ORBIS THE CONCERT」は化粧品会社として美しさを追求するオルビスが、商品やサービス以外にもお客さまの生活の充実に役立てないかとの思いから、心やすらぐひとときを提供するために2005年よりスタートした音楽コンサートです。より多くの方に、美しい音色に包まれて心を癒し、豊かな時間を過ごしていただくと同時に、各地域の交響楽団への支援により音楽普及活動に貢献し、芸術文化の振興にもつながればと考えています。

開始以来、現在までに45,000名を超えるお客さまを招待し、「こんなにも癒されるとは思わなかった」「初めてオーケストラの演奏を生で聴き、とても感動した」「明日も頑張ろうと思えるくらいエネルギーをもらえた」など沢山の喜びの声をいただいています。7回目となる今年は、指揮者に三ツ橋敬子氏、ヴァイオリンに奥村愛氏、ソプラノ砂川涼子氏、テノール中鉢聡氏を迎え、“愛”をテーマとしたクラシックの名曲を各地域のオーケストラ楽団と共にお届けします。

注)お客さまからの鑑賞申込の募集は既に終了しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

【お客さま】オルビス株式会社 TEL:0120-050-050

(インターネット) <http://www.orbis.co.jp/0117/> (モバイル) <http://orbis.jp/0117/>

【報道関係者】オルビス株式会社 通販事業部ブランド・PR推進チーム TEL:03-3788-3937/Fax 03-3788-7463
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室 TEL:03-3563-5540/Fax 03-3563-5543

参考資料

【開催スケジュール】～全国 5 都市 5 公演

公演日・開演時間	公演会場	管弦楽
12月 4日 (火) 18:45	札幌コンサートホールKitara 大ホール	札幌交響楽団
12月 7日 (金) 18:45	愛知県芸術劇場コンサートホール	名古屋フィルハーモニー交響楽団
12月 9日 (日) 14:30	アクロス福岡シンフォニーホール	九州交響楽団
12月 11日 (火) 19:00	サントリーホール(東京)	東京交響楽団
12月 19日 (水) 19:00	ザ・シンフォニーホール(大阪)	日本センチュリー交響楽団

主催:オルビス㈱

共催:(公財)東京交響楽団・(公財)日本センチュリー交響楽団

協力:(公財)札幌交響楽団・(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団・(財)九州交響楽団

※(公財)は公益財団法人の略称です。

【指揮者 三ツ橋 敬子】

1980年東京都生まれ。東京藝術大学大学院音楽研究科指揮専攻を修了。ウィーン国立音大とギジアーナ音楽院に留学。ジュゼッペ・ヴェルディ響、パトヴェラ響、都響、東京フィル、新日フィル、等へ客演。Newsweek Japan 誌で「世界が尊敬する日本人 100人」に選ばれた。



【ヴァイオリン 奥村 愛】

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。国内外のオーケストラと多数共演。2002年「愛のあいさつ」でCDデビュー。一児の母としての経験を生かし、自らのプロデュースによる親子向け公演を数多く手掛け、各地で大絶賛されている。



【ソプラノ 砂川 涼子】

武蔵野音楽大学大学院修了。2000年新国立劇場小劇場オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」でデビュー。確かな技術に裏打ちされた歌唱と美しい舞台姿で人気を博し、日本を代表する若手ソプラノ歌手として、活躍の場を広げている。藤原歌劇団団員。



【テノール 中鉢 聡】

東京藝術大学卒。1992年ロッシニニ国際オペラコンクール入選。サントリーホールホールオペラ「ドン・カルロ」、ゲルギエフ指揮/読売日響でのベルリオーズ「レクイエム」や、サッカー国際試合、オリンピック結団式での国歌独唱など、その幅広い活動は注目を集めている。



【出演オーケストラよりコメント】

財団法人 九州交響楽団 専務理事 末次 誠様

九州交響楽団は2013年度創立60周年を迎えます。長年、九州・山口地域の音楽文化の向上・発展に努めて参りました。その活動資金は国や地方自治体からの補助金、更には各企業・団体・個人の方々からの寄付金・協賛金でございます。しかしながら、近年の行財政改革や長引く景気低迷の影響を受け、楽団運営は年々厳しさを増しております。

そのような中、2009年からオルビス様の特別ご協賛によりまして、全国各地で地元オーケストラによる演奏会を開催して頂きました事は、オーケストラ業界にとって大変な喜びでございます。

当団もオルビス様のメセナ活動の一翼を担うプライドを持ち、演奏活動の充実と更なる社会貢献活動や青少年育成に努めて参りますので、今後も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。